



大沢田

おお ぞう た



大沢田の名は、病院前にある大沢田池に由来します。古くは大藏田池と言われていましたが、今では大沢田池の呼称が一般的になっています。



TOPIC

平成 30 年 7 月西日本豪雨災害における当院の活動報告

診療部長 森田 悟

長く生きる ~雑感~

院長 勇木 清

初期臨床研修医挨拶

臨床研修医

治療と仕事の両立支援にかかる院内相談窓口が開設されました

統括診療部長 柴田 諭

職場紹介

医療機器管理室

CONTENTS

平成30年7月西日本豪雨災害における当院の活動報告	… 2・3・4・5・6・7
長く生きる ~雑感~ 院長 勇木 清	… 8
初期臨床研修医挨拶	… 9・10・11・12・13・14・15
新人看護師研修について	… 16
治療と仕事の両立支援にかかる院内相談窓口が開設されました	… 17
『心臓いきいき市民公開講座』を開催しました!	… 18・19
放射線科 Radiation House カラーになりました!!	… 20
職場紹介(医療機器管理室)	… 21・22
人事異動	… 23



独立行政法人 国立病院機構
東広島医療センター

〒739-0041 広島県東広島市西条町寺家513番地
TEL 082-423-2176 FAX 082-422-4675
<https://higashihiroshima.hosp.go.jp/>

発行責任者:事務部長 横山 修司

平成30年7月 西日本豪雨災害における当院の活動報告 ～災害から一年を経て～

診療部長 森田 悟



平成30年7月6日の西日本を襲った記録的な大雨で広島県内は、死者109名、行方不明者5名、当医療圏においては東広島市、竹原市を含めて死者16名、行方不明者1名を数え、土砂災害、洪水などにより土地、建物、鉄道、道路破壊などの甚大な被害を被った。

※H24.3～広島県指定 災害拠点病院18のうち
中央二次医療圏唯一の地域災害拠点病院



当院は、東広島市、竹原市を含む広島中央二次医療圏域の唯一の災害拠点病院であり、DMAT 2隊とヘリポートを備えている。災害時には、地域の災害医療の中心的な役割を担う必要がある。具体的には、災害の情報収集、県や地域と情報共有、患者の受け入れ、地域医療機関の活動支援、時には他の医療圏への医療支援にあたらなければならぬ。災害の発生は予期できないものであり、また、その規模、災害の種類、その時の当院の被災状況などが複雑に絡み合ってくるので、どのように対処すべきかは、その時々で臨機応変に考えていかなければならない。西日本豪雨災害における当院での活動を報告し、今後起こりうる災害に適切に対処できるための一助となることを期待する。



平成30年7月6日の昼過ぎから、マスコミを通じて豪雨による被災状況を伝えるニュースが入り始めていた。この時点ではDMAT派遣要請はなかったが、装備の確認、出動のための装備のパッキングなどの準備をはじめた。17:50には、東広島市に大雨特別警報、洪水警報が発令され、22時には県庁にDMAT本部が立ち上がり、その時点で被害が大きい海田町に派遣要請が下った。

当院としては、23時には2隊のDMATメンバーを病院に集合し、まず情報収集を行った。災害当日は当院が救急当番病院であったことなどもあり、救急外来には多数の患者が搬入されており、明らかに災害関係の患者さんも散見されていた。この時点で、骨折の緊急手術が入っており、他2名の骨折患者を域外に転送していた。東広島消防局、患者を搬送してきた救急隊からの情報収集し、今後多数の患者が運ばれてくるであろうこと、交通網の遮断により当地区は孤立した状態になっていることが明らかになり、当院としては病院内を災害レベルI(病院内の救急部門での対応能力を超える患者が予想され、対外対策本部を立ち上げる必要がある状態で、病院職員の招集するレベル)とし、救急患者の受け入れ態勢を整えることとした。

院内には、院長をトップに災害対策本部を立ち上げ、DMATを中心に、翌朝まで急患患者対応にあたるとともに、広島県庁対策本部、地域の災害対策本部、消防局、救急隊、保健所、医師会などと連絡を取り、情報収集と共有にあつた。

7月7日には、雨もやみ、救急患者の搬入状況も落ち着いていたので、東広島対策本部と協議の上、当日の救急当番病院(本永病院)に救急業務を移行したが、災害関連の患者は病院としては受ける事とした。DMAT隊は交代制で、本部機能を維持し、防災ヘリでレスキューされた患者の受け入れ業務を行った。

夜明けとともに広島県内の甚大な被災状況が明らかとなり、県庁のDMAT調節本部より当院は広島中央医療圏のDMAT活動拠点病院に指定され、地域の病院の被災状況の確認とEMIS上の報告業務にあつた。

7月8日には、災害自体が広域災害(県外にDMAT派遣依頼するほどの災害規模)に指定され、当院は県外DMATの参集、活動拠点病院に指定された(県内に4病院)。DMATに課せられて任務は圏域の避難所の状況確認と医療ニーズの把握であり、4～5隊派遣されることになった。当院としては、(派遣されるDMAT隊が当地域の情報は持ち合わせていないことを考慮し)受け入れにあたり、以下のように準備した。

①避難所のリストアップ:東広島 竹原 大崎上島
各対策本部の保健師さんたちと連絡を取り 開設されている避難場所と、人数を調査し地図上にリストアップし、区域別に4つにわけて、担当DMATを派遣することとした。

②交通状況の確認

各対策本部に道路状況の現状をFaxしてもらう 消防局に連絡して、消防隊の持っている道路状況を調査

③保健師さんの派遣依頼

集合するDMATに随伴していただくことで、保健師さんの情報、住民との信頼関係を利用させていただくとともに交通情報にも詳しくDMAT活動が潤滑になされることを期待。

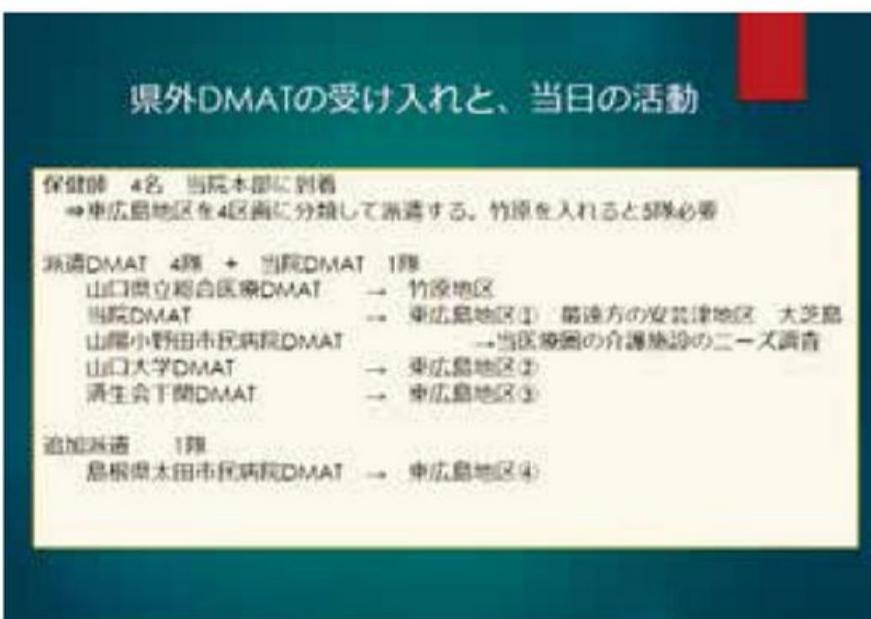
7月9日の朝には東広島保健所から4人の保健師さんに当院本部に集合していただき、避難所の現状を聴取し、東広島地区を4区域に分けて派遣DMATに同行していただくように説明した。竹原地区とは交通が分断されていたので、1隊は直接竹原市に赴いていただくことにしたため、竹原市の対策本部と連絡を取り、DMATとの待ち合わせの場所と時間の調節を行った。当院には4隊のDMATを受け入れて、到着していただいた順番に、遠方のエリアに向かっていただいた。派遣に際し、各隊には当院薬剤部で用意した災害時の簡易処方パックを持参していただいた。

18時には派遣した各隊と保健師さんも交えて反省会を行ったが、DMAT各隊からは保健師さんを同伴することでスムーズに活動ができ、逆に保健師さんからも、医師が同伴していることで避難住民からの忌憚ない意見が引き出せたという相乗効果があったようである。

7月10日には、県対策本部より解散指令があり当院の災害モードを解除した。

以上が当院での活動の内容になりますが、以下に時系列での活動記録を添付いたします。記載できていませんが、土日の休みにもかかわらず病院内の職員の多大なる協力により、円滑に活動ができているということに心から感謝いたします。本当にありがとうございました。

尚、上記内容は昨年の10月に県庁で行われた西日本豪雨災害の活動検証会に発表いたしました。



広島県豪雨災害の記録

始動

7月6日 豪雨災害のニュースが飛び交っている。

14:05 県内に土砂災害警戒警報、広島市大雨特別警報、洪水警報

15:36 広島県医療介護計画課よりメール、EMIS上 警戒モードとなる

当院DMAT隊はすぐには、EMIS上に派遣待機の登録はしていなかったが、いつでも出動できるように、機材の準備、着替えの準備、出動できる隊のメンバー編成をしておく。その後、EMISを確認すると、県内のDMAT数隊が登録していた。→登録

16:40 安芸高田、安芸太田、庄原、北広島大雨特別警報発令

17:50 東広島市 大雨特別警報、洪水警報

22:05 県庁DMAT本部立ち上げ

22:16 県庁DMAT本部より待機依頼

22:44 県庁DMAT本部より出動依頼

広島市内、呉市内のDMATは、広島市安芸消防署(安芸郡海田町堀川町3番12号)に参集してください。県立広島病院のDMATが参集拠点の立上げに向かっています。との連絡。

広島県 健康福祉局 医療介護計画課

23:15 DMATメンバー集合(医師2名、Ns 4名、ロジ2名:2チーム)

病院を災害レベルⅠ体制に…

23:23 東広島消防局に情報収集
災害による連絡が消防にひきりなしに入ってしまっており手が負えない状態
土砂災害があり少なくとも2～3人は生き埋めになっている

23:40 県庁災害対策本部 災害拠点病院に対して受け入れ可能人数確認
赤3黄5緑5と返答した。

次ページへ続く→

→前ページから続く

東広島の被災状況も明らかになり、急患患者さんの中にも災害関係の患者さんも散見されるようになっていた。この時点で骨折の手術が入っていた。

周辺の交通状況は、当院から広島方面に帰る職員が、帰宅困難な状態で、この時点でも、病院からそれほど離れていない国道沿いで立ち往生している。

- 23:45 当院の東広島中央医療圏の中での機能として(返答した人数より)多くの傷病者の受け入れの可能性があり、通常の救急当番体制では乗り切れないと考えられ、人員召集の必要性ありと判断して、災害レベル1の体制で臨むことを院長に進言し、了承を得る。
- 23:50 仮本部より救急外来に災害レベル1で対応し、救急患者は断らないことを基本とする旨伝達。救急外来に現場指揮所設置
TV 福富ダム氾濫発生
- :51 各病棟の空床状況を確認 ICU患者の転出を指示
- :52 ブース設定(現場指揮、赤、救急外来:黄、点滴室:緑 救急受付)
- :55 応接室に本部設置

7月7日

0:00 病院内災害対策本部正式立ち上げ

0:09 当院→県本部

県庁対策本部に以下のとこと連絡し了解を得る

- ・当院は傷病者多数にて災害レベル1としたこと
- ・当院の受け入れ態勢を整える必要があり、マンパワーが必要である。
- ・当院からの出動は交通事情からしても派遣は難しい

以上より

DMATは当院に残り、当院の医療ニーズに対応する。

- 院内のマンパワー 救急当番で雨のため帰宅困難となったDr、看護師
- ・院長 統括診療部長 DMAT(医師2、看護師6、薬剤師2、事務1)
 - ・副看護師長2 外来当直看護師 師長等
 - ・当直Dr 3、研修医 4、耳鼻科2 整形外科2 放射線科技師 薬剤師

0:30 現場指揮所→本部 赤2 黄2 緑3受け入れた。

0:55 EMIS:三原市内で河川の氾濫

1:08 本部→東広島消防に Tel 情報収集

レスキュー多数出動、崖崩れ、冠水、水没連絡 約100件 行方不明情報もあり

1:55 患者搬送した救急隊より情報収集
375線通行止め 東広島一呂道路 通行止め

2:45 本部→東広島消防に Tel 情報収集
東広島消防は現状を把握するため情報収集中

3:00 東広島市役所災害対策本部危機管理課
対策本部統括(細谷さん)→本部
レスキュー活動も落ち着き、救急の連絡も落ち着いた(新たな被災情報はない?)

5:32 広島県対策本部(健康福祉局医療介護計画課)より問い合わせ
現時点での当院が受け入れた患者の詳細報告

7:46 本部→東広島市役所災害対策本部
救急当番は本永病院になるが、当院の体制は解除可能かの問い合わせを行った

7:54 東広島市役所災害対策本部危機管理課
対策本部統括(渡辺さん)→本部
8:30で患者受け入れは本永病院に変更することは可能な返事を受ける
当院は、通常業務とする。

8:30 通常業務移行。
しかし災害関連の患者は病院としては受けた事とした。
DMAT隊は交代制で、院内災害対策本部機能を維持する。

9:00 東広島市役所災害対策本部にDMAT派遣 情報収集
道路情報、被災状況、通報情報を収集
当院は通常業務としたが、災害関係のものは基本的に断らない旨、伝達。

院内通常モードでの活動

7月7日

- 13:00 防災ヘリ竹原より本部
15名 5名×3回の受け入れ要請→承諾
- 13:05 DMAT 再招集
- 13:23 大人2名、子供2名(救助被災者)受け入れ
- 13:30 防災ヘリ→本部 搬送予定 15名から4名に変更の旨 連絡

広島中央医療圏のDMAT活動拠点の指定

- 19:09 県調節本部→本部 当院に広島中央医療圏のDMAT活動拠点本部設置依頼
- 19:30 院長報告 DMAT活動拠点本部設置。近

- 況の病院状況の確認とEMIS登録
連絡が取れない病院に対する情報収集
- 20:30 市役所対策本部に連絡し、交通状況の確認
- 21:22 山形循環器内科(黒瀬町) 病院被災状況確認
- 21:36 賀茂精神医療センター(黒瀬町) 病院被災状況の確認
- 21:37 東広島市役所対策本部(総務部危機管理課徳富)→本部
メール:安芸津への道路情報図の送信を受ける
- 21:45 市役所対策本部にDMAT一隊派遣して情報収集
東広島医療圏の被災状況、交通事情、避難所の開設と避難者数などの情報収集
- 23:07 寺本医院(大崎上島)情報取集
断水の可能性があったが、特に問題なかったとのこと
- 23:28 本部→県調節本部 広島中央医療圏の被災状況報告(EMISへも入力)
- 23:39 県庁性本部→本部 本日解散 明日8時より活動再開命令

7月8日

- 0:08 本部→東広島市役所 当院本部は一時解散し明日活動再開の旨報告
東広島市役所→本部 了解 消防には市役所から連絡するとの返事
- 7:40 DMAT本部に集合 情報収集開始
- 8:36 県調節本部→本部
避難所リストアップ 保健師と連絡して医療ニーズの把握するよう指示
- 8:42 本部→東広島市役所本部(健康増進課)
避難所リストの更新情報をFaxで送つていただくよう要請。
医療ニーズは無し
- 10:15 本部→県調整本部 避難所のFax送信
- 12:06 本部→県調整本部 医療ニーズ、食料ニーズ無しを報告
- 12:08 県調整本部→本部 7/8以降の当院DMATの出動の可否の問い合わせあり
7/8のみ可能であると返答

DMAT参集拠点病院の指定

- (他県にDMAT派遣を依頼した段階で、他県からのDMATが集合する病院が指定)
- 12:31 県調整本部→本部 7医療圏の本部を4に減らし当院は当医療圏の本部指定
- 13:01 東広島市対策本部→本部 避難所の患者の投薬不足
- 13:15 竹原避難所(避難中の当院N.s)→本部

在宅点滴を行っている当院通院患者A様が避難所におり、たまたま、当院看護師が避難所にいるとのことで、点滴付け替えをしてよいかの問い合わせ→了承

- 13:44 厚生労働省DMAT事務局より
広島県よりDMAT派遣を要請がありました

1. 派遣要請都道府県:山口県・島根県・福岡県のDMATの派遣を要請いたします。
2. 以下の活動拠点本部に参集してください。
山口県・島根内DMAT→
福山市民病院DMAT参集拠点(福山市民病院内 / 福山・尾三圏域を含む)
福岡県DMAT→
県立広島病院DMAT参集拠点(県立広島病院内 / 広島市圏域を含む)

- 14:14 本部→竹原市役所 A様の報告と、入院希望あり当院への受け入れ承諾を説明

- 14:55 県庁DMAT調整本部 広島県医療介護計画課より
7/6(金)からの大雨・土砂災害に係って、出動できるDMATはEMISに登録し、出動をお願いします。
- 15:45 竹原市よりA様ヘリ搬送。
- 15:58 県庁DMAT調整本部 広島県医療介護計画課より
7/6(金)からの大雨・土砂災害に係るDMAT出動をお願いします。
今後の活動は避難所活動が中心となります。

下記4参集拠点のうち、最寄りの拠点に参集してください。

- (参集拠点1)福山市民病院
(参集拠点2)東広島医療センター
(参集拠点3)中国労災病院
(参集拠点4)県立広島病院

- 16:10 東広島市役所対策本部→Fax 本部 対策本部会議内容のメールを受信

- 17:22 在宅酸素不足の患者ヘリ搬送される
17:34 福山市民病院→本部 明日域外のDMAT4隊を当院に派遣する旨報告

避難所のリストアップ 東広島 竹原 大崎上島
各対策本部の保健師さんたちと連絡を取り保健師さんの持っている情報提供していただき避難場所と、人数を調査し地図上にリストアップし、区域別に4つにわけて、担当DMATを派遣することとした。

次ページへ続く→

→前ページから続く

交通状況の確認

各対策本部に道路状況の現状をFaxしてもらう
消防局に連絡して、消防隊の持っている道路状況を調査

保健師さんの派遣依頼 集合するDMATに随伴していただけたため

保健師さんの情報、住民との信頼関係を利用させていただくとともに交通情報にも詳しくDMAT活動に同伴していただくことを依頼

17:41 東広島市対策本部 社会福祉課→本部

19:00の会議が終了次第 避難所リストを報告することと 現状報告

明日 保健師さんたちに東広島医療センターに集合してもらうように手配した

18:27 県庁DMAT調整本部 広島県医療介護計画課 より

広島県へのDMAT派遣方針については下記のとおりになります。

- ・福岡県 10～12チーム程度 県立広島病院DMAT参集拠点へ参集し、広島圏域と呉圏域にて活動

- ・島根県 4～6チーム程度 福山市民病院DMAT参集拠点へ参集し、尾三圏域と福山圏域にて活動

- ・山口県 6～8チーム程度 福山市民病院DMAT参集拠点へ参集し、尾三圏域と福山圏域にて活動

それぞれの参集場所へ、7月9日 8時を目途に参集してください

19:24 本部→竹原市対策本部 避難所リストと医療ニーズの情報依頼

19:31 本部→大崎上島役場 避難所1か所(男1、女2)

21:00 竹原市対策本部→本部 避難所リストと避難者数 医療ニーズの報告(FAX)

21:21 東広島対策本部→本部 避難所リストと避難者数 医療ニーズの報告(Mail)

22:20 避難所マッピング完成

22:25 本部→竹原消防 竹原へのアクセスルートの確認

県外DMATの参集、派遣

7月9日

7:30 本部にDMAT参集

7:37 本部→竹原消防 竹原の道路状況 竹原市へのアクセスルート 再確認

7:57 本部→安芸津消防 安芸津の道路状況 アクセスルートの確認

8:05 本部→東広島市役所健康増進課 保健師の手配の確認

8:10 本部→福山本部 現状報告と福山から発

見される4隊のうち1隊は直接竹原市の災害対策本部に派遣していただくよう連絡。当方の連絡先と派遣DMATの連絡方法を聴取。竹原対策本部の連絡方法も伝える。

8:27 東広島市役所→本部 保健師4名確保の報告

8:30 本部ミーティング 参集DMATは4隊

1隊は直接竹原の対策本部に派遣し、そちらで保健師と合流してもらう。

保健師は4名確保し当院の本部に参集していただく

保健師の皆さんに東広島市を避難所の地域ごとに区分けしてもらう

DMATの到着次第順次、保健師に同乗してもらって派遣

8:35 東広島市役所→本部 保健師4名派遣する 報告

8:59 福山DMAT本部→本部 ①山口県立総合医療DMAT 竹原に派遣

9:23 本部→西部東保健所 現在の当院の活動内容を報告

9:40 本部→竹原市役所 ①隊が竹原に移動中であることを報告

竹原の保健師さんとランデブーして、一緒に活動してほしい旨依頼

9:46 保健師4名到着 管轄医療圏を4つに分けて保健師を割り当てる

したがって、
竹原地区 1
東広島地区 4

計5区域にDMAT派遣
当院には3隊派遣の予定があるので、当院DMATを1隊任務に充てる。

9:47 福山DMAT本部→本部 ②山陽小野田市民DMAT 当院に向け派遣

9:50 本部→竹原保健センター DMAT派遣して移動中であること報告。必要な情報をリストアップしていただくよう依頼

10:07 本部→①隊

竹原保健センターに向かっていくよう指示。保健師が待機している。

合流して、竹原の避難所を回って情報収集を依頼

10:25 本部→東広島市役所 安芸津、大芝島の交通事情収集

10:35 ②当院DMATを最も遠方の医療区域(安芸津、大芝島)にまず派遣する。

10:37 本部→県調整本部 当院DMAT 1隊を安

- 芸津、大芝島に派遣した。
当院に派遣される DMAT は何隊か再度確認
- 10:42 県調整本部→本部 派遣DMATは4隊
1隊は竹原に直接3隊が当院に派遣
- 11:14 ③山口大学DMAT 到着 高速道路経由で到着
高速道路は緊急車両は通行できるようになっていることを初めて認知
- 11:16 院長→輸血部 山陽自動車道 緊急車両のみ通行可能
- 11:24 ②隊(当院DMAT) 安芸津、大芝島方面に出動
- 11:26 福山DMAT本部→本部 DMAT1隊 追加派遣する旨報告あり
本部→福山DMAT本部 高速道路経由での移動が可能であること報告
- 11:32 本部→県調整本部
高速道路が通行可能であることをEMISにも挙げるよう要請した。
- 11:33 ④済生会下関DMAT 到着
- 11:53 本部→県調整本部
避難所に派遣されたDMATが処方した薬剤の扱いに対する問い合わせ
- 12:00 ③、④隊 出動 当院の処方薬剤のパック詰めを持参してもらう。
- 12:04 ①隊竹原に到着、保健師と合流
- 12:57 ⑤島根県大田市立病院DMAT 到着
- 13:16 ⑤隊 出動

- 13:44 本部→竹原市役所 ①隊は、竹原市役所で会議に参加している。
- 13:53 ②隊 到着 高速は使用せず下の道を来ていて遅くなった。
- 14:38 本部→保健所 介護施設の医療ニーズの問い合わせ 把握していない
- 14:42 本部→東広島市役所対策本部 同様に把握していない
- 15:17 ②隊に対して 当医療圏の介護施設の医療ニーズ調査を依頼
- 15:36 ⑤隊 帰還
- 17:56 ①隊 竹原の活動は終了しEMISに登録済。18:06宿泊先(福山)に帰還
- 18:15 すべての派遣隊が帰還した
本日のミーティング開始した。
- 21:56 本部→県調整本部 活動入力シートに記入して本日の活動は終了

7月 10日

- 8:42 当院に参集したDMAT4隊とともに朝のミーティング待機
- 9:15 県調整本部→本部 12時に解散予定 12時までは待機命令
- 9:18 福山に待機している①隊に報告
- 11:34 県調整本部→本部 12時に解散決定
- 11:39 ①隊に解散伝達
- 11:50 東広島市役所対策本部 上記報告
- 12:03 竹原市役所 上記報告



長く生きる～雑感～



院長 勇木 清

外来で高齢の方からお話を聞くと、ほとんどの方が周りにおられる元気で自分より高齢の人のありようを見て聞いて自分の糧にしています。人は目の前の現実を近未来の真実にしたいとついつい思ってしまいます。90歳のはつらつとした男性とゲートボールを楽しむと、自分もこうありたいと思うのはごく自然です。しかしこの90歳の男性の同学年の人ほとんどはすでに亡くなっています。この男性はまれな存在であることを忘れます。でも生き生きとした現実の人から元気とやる気を頂けます。

さまざまな元気なご老人の報道がある中、若宮正子さんには驚かされましたし、到底まねができないことではないと思いました。独学で開発したゲームアプリがCNNニュースに取り上げられ、アップルのティム・クック氏の招待で同社の開発者発表会に参加したり、国連の会議にも出向き、演説をしたりしている方です。60歳からコンピューターを学び、その後も勉強し発展させ、講演で世界各地を飛び回り、人生をいつまでも謳歌しておられます。50歳をすぎてから新たな知識を習得するのがいかに難しいかは私自身大いに実感するところです。多くの辛いことも数日でおぼろげとなり、健忘が生きることを楽にしてくれるのではと思っている私のような人間とは全く違う生き方ができる方もいるようです。人生100年時代構想会議のメンバーにも選ばれるのも頷けます。

もう一人私が見たびっくりおじいさんを紹介したいと思います。^{しょうち さぶろう}鼻地三郎という方です。平成22年の10月に博多で行われた日本脳神経外科学会第69回学術総会で‘104歳児サブちゃんの十大習慣健康法’と題しての文化講演を聴講することで私は初めて知ることになりました。赤マントと赤いリボンのシルクハット姿で登場された鼻地さんは私が勤務する西条の小学校に

通い、広島大学を卒業されているという親近感も強くあり、ひかれました。明治36年生まれで、計報の新聞記事を見た時には、講演の時の元気な声や姿を思い起しました。ご本人は医学を含めいろいろな分野の博士号をお持ちですが、福岡市の子どもの施設の園長をするかたわら、全世界を飛び回り、児童教育や長寿法について大学などで講演をしているとお話しされました。外国語で日記を書く習慣や、「この年で海外に行くとやたら女性にモテますわ。安全ですからね」などとユーモアたっぷりの生き方にも魅せられました。もともと体が弱かった博士が100歳過ぎまで病気もせず健康なのは、徹底した自己管理と闘志のたまもので、十大習慣健康法を守っているなどと言われていました。

印象的であったのは健康と長寿への欲望とは裏腹に、長寿がゆえに自分の奥さんや子どもなども含めすべての家族を見送ったつらさも語られました。このことは私の心に刺さり、生きるとはということを深く考えました。

最近まで人間の寿命は生物遺伝学の観点から120から125歳が限界とされてきましたが、最近の若手研究者は150歳くらいまではと考えたりするようになりました。それどころか、記憶と知能と精神をデジタル化してサイバーの世界で永遠に生き続けるなどの話も出ています。“長く生きる”とはを考えさせられます。





初期臨床研修医挨拶 1

初期臨床研修医

佐々木 一巴

はじめまして、初期臨床研修医2年目の佐々木一巴と申します。1年目は広島大学病院で研修をし、その後5月より東広島医療センターで勤務しております。広島大学出身であり、寺家に住んでいたことがあるため、親しみのある東広島で仕事を始めることができ嬉しく思っています。

自己紹介です。私は広島で生まれ育ち、基町高校卒業後に広島大学に進学しました。大学時代にやつておきたいことが色々とあり、部活ではなくバドミントンサークルに所属しました。着物の着付けを習ったり、幼い頃に始めて高校で中断していたピアノを再開したり、ヨガを始めたり、旅行に行ったりと自由気ま

まに過ごして、本当に楽しい大学生活でした。写真はその思い出です！

東広島医療センターは医療圏が広いため救急外来で初期対応を学ぶ機会が多く、また指導をして下さる先生やスタッフの皆様も熱心で温かみのある方が多く、のびのびと研修ができると感じ研修病院として選択をしました。1年という期間ではありますが、少しでも成長できるように努力してまいりたいと思います。ご迷惑をおかけすることも多いかと思いますがよろしくお願ひいたします。



初期臨床研修医挨拶 2

初期臨床研修医

沖本 昂祐

皆様、初めまして。今年広島大学を卒業し、四月から東広島医療センターで初期研修医として働かせていただいております。沖本昂祐と申します。

僕が東広島医療センターを志望したきっかけは、病院スタッフ皆さんのが楽しそうに仕事をしておられたからです。大学5年の時、初めて来た病院見学では、初期研修医の先生方について見学をさせていただきましたが、先生方がとても生き生きと、積極的に治療にあたっておられたことがすごく印象に残りました。一年後、世代が変わっても、同じように生き生きと仕

事をしていらっしゃる先生を見て、この研修医になればこんな研修を送れるんだ、ここで研修したい、と思うようになりました。この病院で実際に働くことができ、大変うれしく思っています。

僕は広島県呉市安浦町出身で、山と海に囲まれた自然豊かな田舎です。寺家周辺も自分の実家を思い出させる雰囲気で、落ち着いた毎日を送ることができます。学生時代は、陸上部に所属し、短距離を



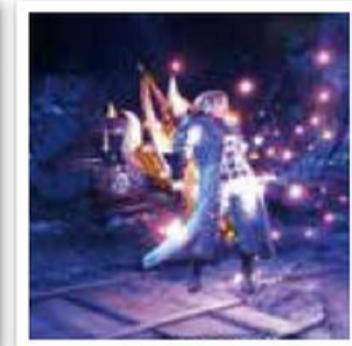
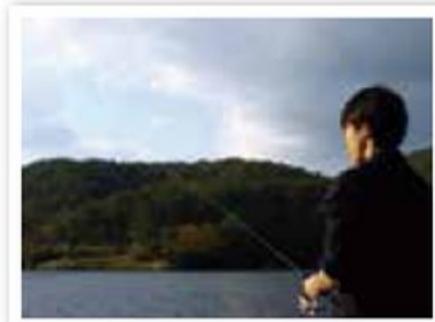
中心に走る傍ら、駅伝やマラソンにも挑戦しました。医療センター内にバドミントンやフットサルなど集会があるそうなので積極的に参加して体力低下と体形維持を頑張っていきたいと思います。

趣味はバイク、ゲーム、ギターなどたくさんあります。バイクはもともと父の趣味で、小学生の頃、コロなし自転車に慣れたころからミニバイクに乗せられ、トライアル競技をかじらされたのち、大学の時に父の腰痛の悪化に合わせて大型二輪免許を取得しました。今は父が乗れなくなったYAMAHAのSRXに乗って

います。

写真は6年の西医体と下関海峡マラソン、ゲームのクエスト失敗画像、卒業旅行で行ったマンハッタン、学生時代に行った釣りで後ろから盗撮されたものです。

社会人一年目、世間知らずな面も多くあると思いますが、何卒よろしくお願いいたします。



初期臨床研修医挨拶 3

初期臨床研修医 山本 章世

皆様、初めまして。初期臨床研修医2年目の山本章世と申します。章世と書いて「ふみよ」と読みます。1年間広島大学病院で研修を行い、たすき掛けで東広島医療センターに参りました。新しい環境で戸惑うことは多いですが充実した毎日を送らせていただいています。

簡単ではございますが、自己紹介をさせていただきます。出身は広島市内で、基町高校、広島大学を卒業しました。幼い頃より水泳・書道をしており、どちらも大学まで続け青春を捧げてきました(ですので幼い頃から手は墨汁で真っ黒、肌も焼けて真っ黒でした)。さやかな自慢ですが、水泳を続けていたおかげか手足の水かきが発達しています。今まで部活中心の生活だったためこれといった趣味はありませんが、日光を浴びたり、風を感じたり、美味しいものを美味

しいお酒と一緒に食べたり、のど自慢やサスペンスを見ることが好きです。自然に囲まれ、酒蔵もたくさんある東広島市での生活がとても楽しみです。写真は、高校・大学時代の思い出、旅行の思い出です。

最後になりましたが、私のこの1年間の目標は、どんなことにも貪欲に前向きに挑戦することです。ご迷惑おかけすること多々あると思いますが、どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。





初期臨床研修医挨拶 4

初期臨床研修医

勝間田 莉帆

初めまして、初期臨床研修医1年目の勝間田莉帆と申します。小中高と広島で育ち、大学は愛媛大学を卒業しました。東広島医療センターを志望した理由は、見学の際この病院全体から感じられる明るくフレンドリーな雰囲気がとても好きだったからです。実際に働いてみて、先生方やコメディカルの方、事務の方皆様が本当に親切で、この病院で働くことができる幸せを日々噛みしめております。東広島で生活をするのははじめてですが、休日にお店や遊ぶところの開拓を楽しんでおります。

簡単に私の自己紹介をさせていただきます。大学時代はバドミントン部に所属し、練習や行事を楽しんでおりました。2年目の横畠先生は部活の先輩でとてもお世話になりました。バドミントンそのものは全く上達しませんでしたが、人に恵まれ特に同期の女子とは愛媛をめいっぱい楽しみました。最近頑張ってい

ることは車の運転で、目標は2号線の合流ができるようになります。地図が読めず、ナビも下手なので同期を何回も危ないドライブに巻き込んでしまいました。しばらく車出しは免除されると思います。

最後に、この2年間積極性を大切に日々過ごしていきたいと考えております。未熟で何もできない現状に引いてしまいそうにもなることもあります、自分が学んできたことを患者さんに、そして医療現場に還元できるよう努めて参ります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



初期臨床研修医挨拶 5

初期臨床研修医

前田 文彬

初めまして。初期臨床研修医1年目の前田文彬と申します。今年度から広島大学を卒業し、こちらの東広島医療センターで研修させていただくことになりました。出身は京都で、同期の研修医の中では唯一の県外出身者です。「じゃけぇ」だけは6年の大学生活でもうつらなかつたのでこの2年間も関西弁を守るつもりです。

さっそくですが、自己紹介をさせていただきます。これまでやってきた部活は小学校で水泳、中学校では卓球、高校では硬式テニス部、大学では陸上と卓

球など、様々なスポーツを行ってきました。スポーツはやるもの見るのも好きで、カープやサンフレッチェなども応援しています。

先日は院内のバドミントンやフットサルにも参加させて頂いて、とても楽しかったのでこれからも参加していきたいと考えております。

写真は大学時代6年生のときにリレーで広島大学医学部陸上部の部記録を作ったメンバーの写真、卒業旅行でのナイアガラの滝(同期の沖本もいます)、マ



チュピチュ、ウユニ塩湖、メルボルンでのスカイダイビングなどの写真を選ばせて頂きました。このように旅行が大好きで、47都道府県制覇まであと青森、岩手、秋田、山形、福島、茨城と6県の観光をしたことのない都道府県があるのでぜひ2年の間にお付き合いしていただけの方いたらよろしくお願ひします。

最後に、まだまだ未熟者で皆様にご迷惑をおかけ

することも多いとは思いますが、精一杯頑張りますご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ致します。



初期臨床 研修医挨拶 6

初期臨床研修医

大谷 達矢

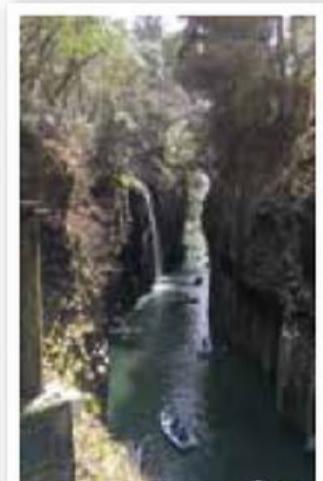
皆様初めまして。初期臨床研修医1年目の大谷達矢と申します。マグロで有名な大阪の近畿大学を卒業し、この4月より東広島医療センターで研修させていただいております。生まれも育ちも広島で、都会に行ってみたいと大学は大阪に行ったものの、慣れ親しんだ地の魅力には敵わず、広島に帰ってくるぐらい地元愛に溢れています。

大学では6年間茶道と、華道・弓道を少しやっておりました。皆様抹茶味のお菓子などは口にした事がある人がほとんどだと思いますが、お抹茶そのものを飲んだことがある人は少ないのではないでしょうか。苦いイメージがあるかもしれません、うまく点てたお抹茶はただ苦いだけではないので興味のある方は

お声がけください。美味しいお茶をお出しします。茶道を通して人との出会いの大切さ、思いやりの心が自然と身についたと思っております。大学でより成長した、思いやりの心を持って患者さんに寄り添えるような医師になれるよう研修に励みたいと思っております。

写真は茶道・華道をしている時のものと、趣味の旅行で静岡・富士山・宮崎に行った時のものです。

まだまだ至らない点も多いかと存じますが、東広島医療センターで研鑽を積み実りある2年間にしたいと思っておりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。





初期臨床研修医挨拶 7

初期臨床研修医 張 越

初めまして。4月より初期臨床研修医としてお世話になっております、張越と申します。

出身は広島市で広島女学院高校、広島大学を卒業し、その延長線上で研修病院もなんなく広島市に落ち着くだろうなと思っていたのですが、大学の実習で東広島医療センター伺った際、医療スタッフ同士の距離が近くとても雰囲気の良い病院だと感じ病院見学を申し込みました。特に印象的だったのは研修医の先輩方が実際に働かれている姿で、病棟業務や救急対応など、大学卒業から短期間でこんなにも自分から動けるようになると当時驚いたことを今でも鮮明に覚えております。広島中央医療圏の中核病院として様々な症例を経験でき、知識豊富な先生方、優しくも頼れる看護師やコメディカルの皆様がいらっしゃる中で充実した研修生活を送りたいと思い、当院を志望致しました。掲載しました写真と共に趣味の話をさせていただきますと、私は高校時代友達に誘われてヴィオラを弾き始め、大学では管弦楽部に所属しておりました。音楽経験が一切ないどころか興味すら無かった中、誘われるがままに楽器を始めたのですが、

それでも続けて来られたのは楽器を通じて出会った周りの方々に恵まれ、部活で過ごす時間が本当に楽しかったからだと思います。努力すれば報われると信じ練習に励む毎日でしたが、「人から上手いと思ってもらえることはまず無いだろうね」と忌憚の無い意見を先生から頂戴し現実の厳しさを突き付けられる日々でもありました。しかし同時に「その分自分がどう上達したのか周りに見てもらえればいい。成長し続けてたらきっと見捨てられないから」とのお言葉もいただき、それが今でも自分の支えになっています。

こちらで働きはじめて約一ヶ月、自身の不勉強や無力を日々痛感させられております。人一倍出来ないことが多いかとは存じますが、出来なかつたことを出来るように、知らない知識を次へと生かしていくように、日々精進して参りますので、どうか見捨てないで頂けましたら幸いです。これからどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



初期臨床研修医 渡部 真

皆様、初めまして。初期臨床研修医1年目の渡部真と申します。この4月より東広島医療センターで研修させていただいております。

東広島医療センターを研修先として希望させていただいた一番の理由は、病院全体の暖かさです。研修医の先生方に優しくかまってもらい、診療科では先生方や看護師の方々に優しく対応していただきました。皆様とても仲が良く笑顔が絶えないので、初めての病院見学の際にこの病院で来年度から働きたいと強く思ったのをよく覚えています。そして、この東広島医療センターで今研修ができていることをとても嬉しく思います。

さて、少し自己紹介をさせていただきます。私は出身が広島市で、修道中学・高校と経て、高知大学に進学いたしました。中学・高校ではテニス部に所属したものの絶望的なセンスのなさでサーブが入らず、自分のサーブで相手が得点する自滅テニスになっていることに思い至り、テニスから身を引くこととなりました。

一転、大学では球技をあきらめ合気道部、軽音部

に所属しました。合気道は、対立や逃避ではなく相手や物事と氣を合わせることを学び、武道の中だけに囚われず、人生の道までも師範に説いていただきました。

軽音部ではギターを担当し、毎ライブ前には緊張から嘔気を感じるバンドマンとしてバンド活動にいそしんでおりました。

この二つの部活は無事6年間続けることができ、部活の仲間たちをはじめ様々な方達の協力の下困難を乗り越え、大きく成長することができたと思っております。

最後に、こんな私なのでこれから多大なご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、日々精進を胸に何事も一生懸命頑張っていきたいと考えておりますのでご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ致します。

写真は西医体での受賞時、演武中、集合写真、軽音部のライブ中、ライブ会場の楽屋でかっこつける私です。





初期臨床 研修医挨拶 9

初期臨床研修医 片岡 慶

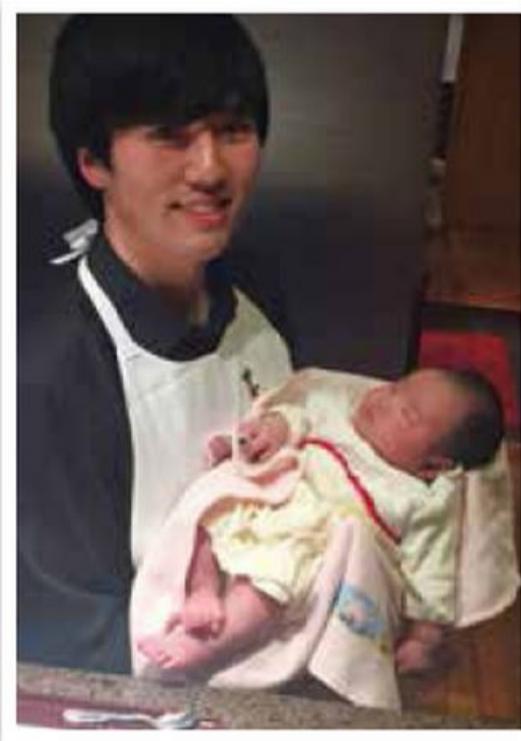
初めまして、広島大学を卒業し今年度からこちらで研修させて頂くことになりました、初期臨床研修医1年目の片岡 慶と申します。

趣味は球技全般です。部活でやっていた野球や、フットサル、ゴルフ、バドミントンなどなんでもお誘い頂けたらすぐに駆けつけます。どんなマイナー球技でも人数を集めている際には是非一声かけて下さると助かります。

広島で生まれ広島で育ち、広島で大学生活を過ごしてきたので、勿論カープの大ファンです。マツダスタジアムを始め全国の球場を巡るのが密かなマイブームになっています。2016年の日本シリーズでは札幌ドームまで応援まで行きました。しかし最近のカープブームが影響してマツダスタジアムには殆ど行けていません。もし1席空きが出来ましたら是非ご連絡お待ちしております。

グルメにもとても興味があります。大学一年生の以来の東広島なので、パン、定食、お好み焼き、レストランなど殆ど知らないので、こちらのお店でオススメがございましたら是非ご一報下さい。

4月から研修が始まり、周りの皆様にご迷惑ばかりかけてしまっておりますが、頑張ってついて行きますので、厳しいご指導のほど宜しくお願ひ致します。



新人看護師研修について

教育担当看護師長 林 祐子

春の訪れと共に今年度は新人看護師26名が入職しました。看護部では、新人看護師に入職時より集合研修を行い、看護師としての責務を知り基礎技術の実施の導入を行っています。研修内容は、看護倫理を規範としてまず社会人としての心構えやどのような看護師になりたいかをグループワークしました。副看護師長と新人看護師のサポート役であるプリセプター看護師の話を聞き「笑顔で信頼される看護師」「患者さんの気持ちに寄り添って責任をもって行動できる看護師」となりたい看護師像を語り合い、気持ちを新たにしていきました。また看護記録と報告、電子カルテの操作、感染防止、点滴静脈注射、

薬剤の取り扱いと看護師としての必要な技術を新たに学んでいきました。研修の中で、新人看護師は皆、積極的に学び研修時間いっぱいまで先輩に質問し、血管確保の練習を続けようとしたりと熱心に取り組んでいました。現在は病棟で、日々患者さんの看護を行いながら、月1回集合で技術研修を行い、集合研修で学んだことを現場で実践していき、一人前の看護師となるべく切磋琢磨しています。

私たち先輩看護師は温かい目を持ち、必要な厳しさをもって新人看護師を成長させるべく指導を行い、共に学び成長していきたいと思っています。





Information 2

治療と仕事の両立支援にかかる 院内相談窓口が開設されました。(広島県内で2番目です)



統括診療部長 柴田 諭

平成31年3月18日に当院は広島県内の他病院に先駆けて広島産業保健総合支援センターと治療と仕事の両立支援にかかる協定を締結し、4月1日より県内では中国労災病院以外では当院と福山医療センター、中国中央病院の3病院に初めて院内窓口が開設されました。対象はがんや心疾患、脳卒中、糖尿病、肝炎などで入院や通院を繰り返しておられる患者さんです。

院内の相談窓口(随時)で両立支援促進員が両立にむけて相談対応を行い、職場との調整役として、職場の環境整備にむけて助言・アドバイスや両立支援プランの作成の支援を行います。

2019年6月12日の中国新聞にも大きく取り上げられており、高橋副院長の「生きがい、収入の面からも働き続けることは重要で、治療のモチベーションにもつながる。企業にとっても貴重な人材を失わずに済むことから両立の意義は大きい」とのコメントが掲載されています。

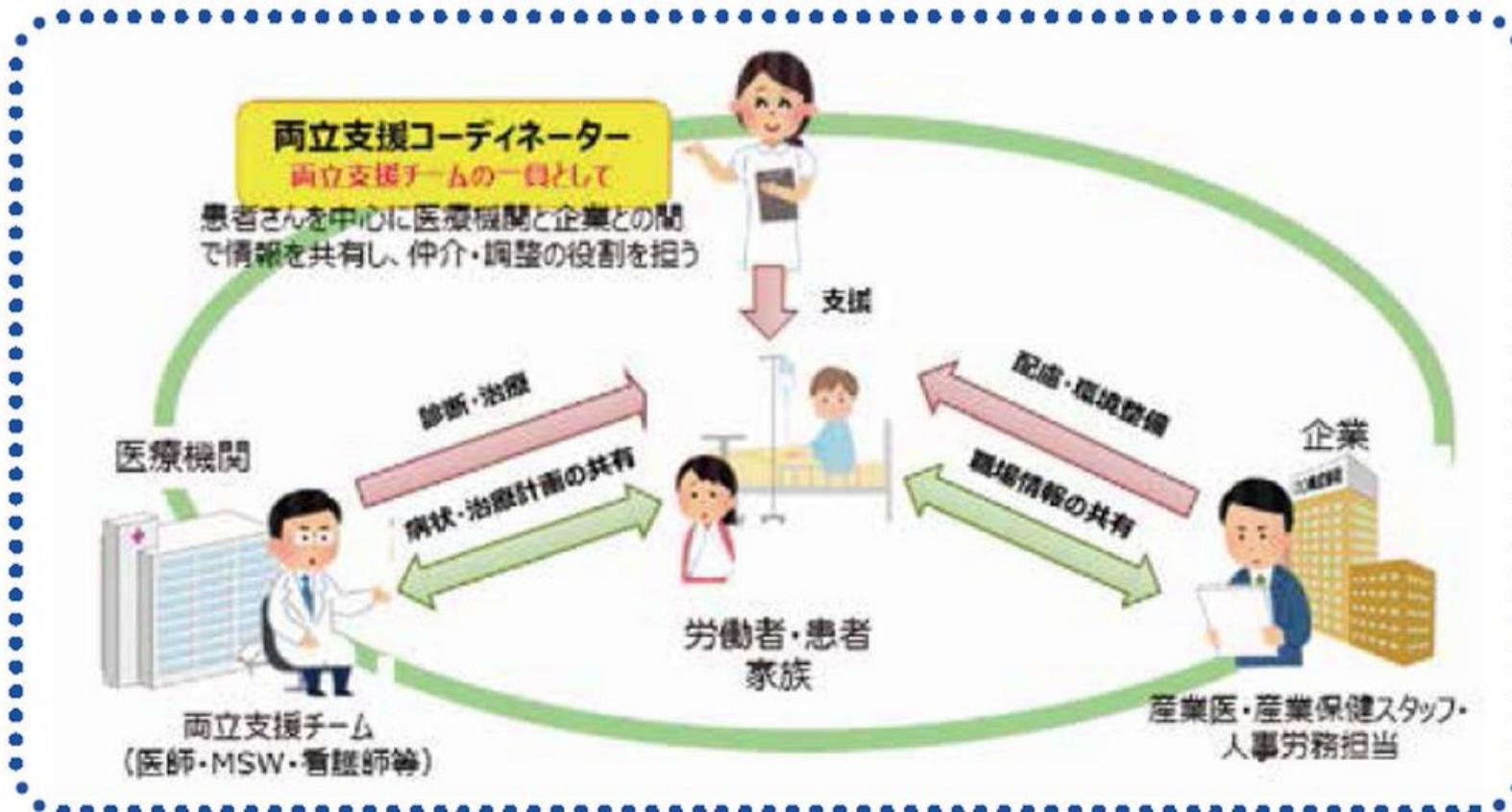
当院に治療にかかる環境支援の大きなツールがまた一つ増えました。両立に悩んでおられる方がいらっしゃれば、ぜひ窓口を訪れていただくよ

うお話ししてください。

”もしも「サラリーマン金太郎」が中小企業の社長だったら…”のパンフレットも外来フロアに置いてありますので、一度ご覧ください。



中国新聞 2019年(令和元年)6月12日



『心臓いきいき市民公開講座』を開催しました!

地域連携係長 道面 あゆみ



広島県では平成23年度から、心不全患者の再入院を予防し生活の質の維持・向上を目指して、広島大学病院心不全センター及び県内7医療圏ごとに設置された「地域心臓いきいきセンター」を中心に「広島県心臓いきいき推進事業」を展開しています。また平成29年度からは、心不全に関わる医療・介護連携体制の基盤を整え、在宅患者の療養生活を支援するため、地域のかかりつけ医や薬局、訪問看護ステーション等を「心臓いきいき在宅支援施設」に認定する「広島県心不全患者在宅支援体制構築事業」の取り組みも開始されました。

当院は広島中央圏の「地域心臓いきいきセンター」として指定を受け、医療従事者向けの研修会の開催、心不全患者への再発予防に関する普及啓発などを行ってきました。

令和元年となる今年度は、新たな取り組みとし

て「心臓いきいき在宅支援施設」である医療法人社団博愛会木阪病院、東広島市のご協力の下、令和元年6月15日(土)に『心臓いきいき市民公開講座』を東広島市市民文化センター アザレアホールで開催しました。

当日は雨にも関わらず、20歳代から80歳代まで132名の参加がありました。循環器内科部長小野裕二郎先生の挨拶に始まり、木阪病院診療部長 梶原賢太先生の「心臓のはたらき、病気、治療」の講演、訪問看護ステーション長寿苑からは菅田直子訪問看護師に、在宅での関わりについて講演していただきました。その他、木阪病院平田尚久PT・当院宇山拓弥PTによる「心臓病のリハビリテーション」、当院岩佐朋美管理栄養士による「心臓に負担をかけない食事」、当院太刀掛ひろみMSWによる「心不全患者が利用できる医療及び





「社会資源」という演題で、心不全と付き合いながら少しでも長く在宅で療養できるための方法や注意点について、それぞれの立場から講演していただきました。盛りだくさんな内容で、予定時間を少しオーバーしてしまいましたが、アンケートでは95%以上の方から満足したという結果をいただき、とてもうれしく感じています。

聴講ばかりだと疲れてしまうため、講演の途中には「沖縄音楽に合わせて一緒に体を動かそう！」と題して、『よんなあ～よんなあ～』の皆様による三線の演奏を聞きながら、参加者全員が歌と踊りを楽しみました。実際の三線を初めて聞いたという方もおられ、会場が一番盛り上がり、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。『よんなあ～よんなあ～』の皆様、ありがとうございました。

会場前のブースには、発表内容と時間の関係で講演できなかった『日常生活の注意点』などのポスターを貼り、情報提供を行いました。熱心にメモを取って帰られる参加者の方もおられ、市民の皆様の健康への意識の高さを改めて感じました。

また「広島県心臓いきいき推進事業」で推奨している『心不全手帳』を参加者全員に配布し、毎日記入することをお勧めしました。これは症状や日々の経過を目で見える形にした自己管理手帳です。受診時やデイサービスなどにも持参していただくことで、患者さんと関わる様々なスタッフとの連絡帳の役割を果たす事ができるため、もっと浸透させていきたいです。今後も「心臓いきいき在宅支援施設」の皆様や、かかりつけ医の先生方と情報を共有し、心不全患者が少しでも長く在宅での生活が送れる様に協力していきたいと考えています。

今回の市民公開講座は初めての試みであり、「本当に開催できるのか？」と不安もありましたが、事前準備から当日の担当まで、木阪病院の皆様と当院の心不全チームの皆様の協力により、無事に開催することが出来ました。最後になりましたが、皆様のご協力とご支援、本当にありがとうございました。 次回の開催を期待する声も多数頂きましたので、その時はまた宜しくお願ひいたします。



Information 4

放射線科 Radiation House カラーになりました!!



放射線科 三木 健太

患者さん、職員の皆様、いつも放射線科業務にご尽力いただきありがとうございます!!

今年は、平成が31年の歴史に幕をおろし令和へと元号も変わりました。それに伴い「放射線科にも新しい風を吹き入れたいいいいいいいいい！」と技師長命令により、仕事の戦闘服を白いKC→青いスクラブに変更しました!!

爽やかな「青」のデザインで軽快なフットワークで動ける放射線科を意識しています。この姿を見てピン!と来た方もいるのではないでしょうか?

そう!月9「ラジエーション・ハウス～放射線科の診断レポート～」です。このドラマは診療放射線技師を題材にしたドラマで僕たち診療放射線技師がみても、「あるある♪」なドラマです。診療放射線技師の仕事や葛藤を描いたドラマですので、お時間があれば是非ご覧ください。
これからも僕たち放射線科をよろしくお願ひいたします。





職場紹介

医療機器管理室

はじめに

医療機器管理室は室長である診療部長中谷先生のもと8名の臨床工学技士で業務を行っています。臨床工学技士は現在の医療に不可欠な医療機器のスペシャリストです。今後ますます増大する医療機器の安全確保と有効性維持の担い手としてチーム医療に貢献しています。院内では「MEさん(エムイーサン)」と呼ばれていますが、みなさんとはあまり会う機会がないと思います、この機会を利用して臨床工学技士と業務の紹介をさせていただきます。

臨床工学技士について

臨床工学技士制度ができたのは比較的新しく、1987年に制定されました。臨床工学技士になるためには定められた学校を卒業し国家試験を受ける必要があります。現在、広島県には養成校が3つあります。

臨床工学技士は医師の指示の下、生命維持管理装置の操作及び保守点検を行うことを業務と

する医療機器の専門医療職種です。生命維持管理装置には、人工呼吸器・人工心肺装置・心臓ペースメーカー・補助循環装置・血液浄化装置・除細動・保育器などがあります。医療技術の進歩に伴い、医療機器の高度化複雑化が一層進む中、医師をはじめ看護師などと共に医療機器を用いたチーム医療の一員として生命維持をサポートしています。

当院の臨床工学技士は平成13年に1名配属され、その後2名体制でした。平成19年に療養所から医療センターへ改称し建て替えも行われ、診療科の増加に伴い臨床工学技士の必要性も高まり、それまで1～2名体制だったのが平成23年からの5年間で2名から8名へと段階的に増員されました。

普段は医療機器と向き合うことばかりで患者さんと直接お話しする機会は少なく、ペースメーカーチェック時や人工透析、在宅呼吸器対応の時くらいしかありません。



次ページへ続く→

職場紹介

→前ページから続く

医療機器管理室の業務

普段は定期業務に加え、緊急業務があるため一日の業務量が変化します。時間の空いたときには、色々な機器の操作・回路組立などの訓練時間にあて常に緊急業務に備えております。

- ・医療機器管理業務(医療機器の保守点検、不具合対応など)
- ・手術室業務(人工心肺手術、神経刺激装置など)
- ・心臓カテーテル業務(心カテ、補助循環装置操作など)
- ・血液浄化業務(透析センター、アフェレーシス、腹水濾過濃縮再静注法など)
- ・不整脈治療業務(アブレーション、ペースメーカー植え込み・チェックなど)



おわりに

医師、看護師など他の医療職と比べても臨床工学技士の歴史は浅く、誕生から32年が経過したばかりで、医療の進歩に伴い業務も多種多様化しています。今後、超高齢社会が進むにあたり、社会から求められる医療がどのように変化していくのか不安があります。

また、昨年7月には大雨による土砂災害が発生しました。災害対策に万全ではなく、特に災害初期では行政や各団体の援助・支援が届くまでの間、地域単位で連携する必要があると考えます。地域災害拠点病院の一員としてこれからも色々な場面で貢献できる臨床工学技士を目指し、日々努力していきたいと考えています。今後ともよろしくお願ひいたします。





人事異動

採用



H31.4.8

レジデント

牛尾 由希子

退職

H31.4.7 皮膚科医師

芦澤 慎一

R1.6.30 耳鼻いんこう科医師

竹本 浩太



独立行政法人 東広島医療センター 外来診療担当表

令和元年7月1日現在

変更することがありますので、恐れ入りますが窓口でご確認ください。

診療科名		月	火	水	木	金
総合診療科	松本 正俊	小出 純子	小出 純子	小出 純子	小出 純子	小出 純子
内分泌・糖尿病内科	午前 ⑨岡田 晃 ⑩小出 純子 午後 ⑪担当医	⑨向井 理沙 ⑩岡田 晃 ⑪担当医	⑨第1・3・5岡田 晃 ⑩第2・4 向井	⑨小出 純子 ⑩向井 理沙	⑨小出 純子 ⑩岡田 晃	⑨小出 純子 ⑩岡田 晃
糖尿病療養外来	糖尿病療養外来は、毎週火曜日(祝日等を除く)の午前9時から12時まで【完全予約制】					
腎臓内科	木村 文香	入福 泰介	谷 浩樹			入福 泰介
血液内科	今川 潤	粟屋 忠祐		今川 潤	粟屋 忠祐(予約再診のみ)	
脳神経内科	⑨北村 樹里 ⑩琴崎 哲平 ⑪山田 英忠	⑨琴崎 哲平 ⑩末田 芳雅 ⑪山田 英忠	⑨山田 英忠 ⑩琴崎 哲平	⑨末田 芳雅 ⑩北村 樹里	⑨北村 樹里 ⑩末田 芳雅	
呼吸器内科	⑨村上 功 ⑩宮崎 こずえ ⑪川口 健太郎 ⑫西村 好史	⑨重藤 えり子	⑨西村 好史 ⑩宮崎 こずえ	⑨宮崎 こずえ ⑩重藤 えり子 ⑪村上 功 ⑫川口 健太郎	⑨川口 健太郎 ⑩村上 功 ⑪西村 好史	
循環器内科	⑨東 昭史 ⑩原 幹 ⑪城 日加里 ⑫對馬 浩	⑨小出 真一郎 ⑩小野 裕二郎	⑨小野 裕二郎 ⑩東 昭史	⑨原 幹 ⑩城 日加里 ⑪小出 真一郎	⑨對馬 浩 ⑩小野 裕二郎 ⑪城 日加里 ⑫原 幹	
小児科	上野 哲史 原 香住 梅本 勇基	下田 浩子 梅本 基光 村上	岡田 泰之 原 香住 村上 光	上野 哲史 原 香住 村上 光	下田 浩子 岡田 勇基	
外科	高橋 忠照 池田 昌博 宮本 和明 第1・3・5井上 渡邊 淳弘 手術日	貞本 誠治 豊田 広一郎 大森 一郎 井上 雅史 澤田 紘幸 齊藤 保文 梶川/渡邊(隔週交代)	高橋 忠照 貞本 和明 宮本 遼太郎 松原	豊田 和広 大森 第1・3井上/第2・4澤田 梶川 隆治郎 江村 尚悟	高橋 忠照 池田 昌博 第1・3・5澤田 梶川 浩	
ストーマ外来	ストーマ外来は、第1、2、3水曜日及び第4月曜日(祝日等を除く)の午後【完全予約制】					
整形外科	岸 和彦 今田 英明 第1・3・5渋谷 宇治郷 諭 第2・4森 角 悠司	今田 英明 宇治郷 諭 第2・4渋谷 第1・3・5森	岸 渋谷 和彦 早俊	岸 宇治郷 和彦 森角 悠司	今田 英明 渋谷 早亮	
手術日	手術日					
骨粗鬆症外来	骨粗鬆症外来は、第2、第4木曜日(祝日等を除く)の14時から17時まで【完全予約制】					
呼吸器外科	手術日	柴田 洋明 原田 謙	柴田 上垣内 謙	手術日	柴田 洋明 原田 謙	
皮膚科 (火・金曜日手術のため8:30~10:30まで)	間所 直樹 牛尾 由希子	間所 直樹 牛尾 由希子 手術日	間所 直樹 牛尾 由希子	豊島 芳江 第1・3・5牛尾/第2・4間所	間所 直樹 牛尾 由希子 手術日	
眼科(休診)						
緩和ケア外来(休診)						
消化器内科	濱田 博重 石垣 尚志 井川 敦	苗代 典昭 平野 大樹 南 智之	濱田 博重 石垣 尚志	井川 敦 苗代 典智 南 智之	苗代 典昭 平野 大樹	
脳神経外科	勇木 清隆 貞友 落合 淳一郎	手術日	落合 淳一郎 森岡 博美	勇木 清隆 貞友 品川 勝弘	品川 勝弘 森岡 博美	
心臓血管外科	森田 悟	手術日	前田 和樹 江村 尚悟	森田 悟	前田 和樹	
耳鼻咽喉科	午前 宮原 伸之 安藤 友希	手術日	大和 賢輔 安藤 友希	担当医 (手術のため緊急紹介患者のみ8:30~9:30まで)	宮原 伸之 大和 賢輔	
午後 担当医(予約のみ) 手術日	宮原 伸之(予約のみ) 大和 賢輔(予約のみ)			手術日	(予約のみ) 安藤	
歯科	應原 一久	松田 真司		加治屋 幹人	濱本 結太	
泌尿器科	藤原 政治 正路 晃一	藤原 政治 正路 晃一	正路 晃一 西田 健介	藤原 政治 西田 健介	手術日	
産婦人科 (予約制)	手術日	兒玉 尚志 花岡 美生 仙波 恵樹	手術日	兒玉 尚志 加藤 俊平 仙波 恵樹	兒玉 尚志 花岡 美生 加藤 俊平	

【受付時間】 8時30分～11時30分 診察時間 8時30分～17時15分 ○救急患者様は随時診療いたします。

歯科(入院応需)は臨時に診察曜日が変更となることがあります。

【予約受付】 再診患者様につきましては、受診時に次回の診察予約ができます。また、定期的に受診されている場合には、電話での予約も可能です。 電話(082)423-1489 (平日8:30から15:00)

【産婦人科】 産婦人科外来は原則的に初診も含めて予約制です(火曜日・木曜日・金曜日)。

【診療日】 月曜日～金曜日(土曜日・日曜日・休日・年末年始は休診となります。)



■お問い合わせ

独立行政法人 国立病院機構
東広島医療センター

〒739-0041

広島県東広島市西条町寺家513番地

ホームページ

<https://higashihiroshima.hosp.go.jp/>

Webからは 東広島医療センター

検索

TEL082-423-2176 FAX082-422-4675